

平成23年度
博士課程教育リーディングプログラム プログラムの概要

[採択時公表]

機関名	慶應義塾大学	機関番号	32612
1. 全体責任者 (学長)	(ふりがな) (せいけ あつし) 氏名・職名 清家篤(慶應義塾大学長)		
2. プログラム責任者	(ふりがな) (まかべ としあき) 氏名・職名 真壁利明(慶應義塾大学常任理事、理工学研究科・教授)		
3. プログラム コーディネーター	(ふりがな) (きよき やすし) 氏名・職名 清木 康(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科・教授)		
4. 申請類型	B <複合領域型(環境)>		
5.	プログラム名称	グローバル環境システムリーダープログラム	
	英語名称	Global Environmental System Leaders Program	
	副題		
6. 授与する博士学位分野・名称	博士(政策・メディア、グローバル環境システム)、博士(理学、グローバル環境システム)、博士(工学、グローバル環境システム)		
7. 主要分科	(① 環境学) (② 社会・安全システム科学) (③ 総合工学) ※ 複合領域型は太枠に主要な分科を記入		
	資源保全学、地域研究、情報学、政治学、経済学、経営学、数学、物理学、基礎化学、複合化学、応用物理学・工学基礎、機械工学、電気電子工学、建築学、森林学、科学教育・教育工学		
8. 主要細目	(①) (②) (③) ※ オンライン型は太枠に主要な細目を記入		
	環境影響評価・環境政策、社会システム工学・安全システム、地球・資源システム工学		
9. 専攻等名 (主たる専攻等がある場合は下線を引いてください。)	政策・メディア研究科政策・メディア専攻、理工学研究科開放環境科学専攻、理工学研究科基礎理工学専攻、理工学研究科総合デザイン工学専攻		
10. 共同教育課程を構想している場合の共同実施機関名			
11. 連合大学院として参画または構想する場合の共同実施機関名			
12. 連携先機関名(他の大学等と連携した取組の場合の機関名、研究科専攻等名)	米国・プリンストン大学(Princeton University)、英国・ケンブリッジ大学(University of Cambridge)、国連環境計画 APAN (United Nations Environment Programme, Asia-Pacific Adaptation Network)、フィンランド・タンペレ工科大学(Tampere University of Technology)		

(機関名:慶應義塾大学 申請類型:複合領域型(環境) プログラム名称:グローバル環境システムリーダープログラム)

15. プログラム担当者

計 27 名

※他の大学等と連携した取組(共同申請を含む)の場合:申請(基幹)大学に所属するプログラム担当者の割合 [85.2 %]

氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門 学位	役割分担 (平成24年度における役割)
(プログラム責任者)		63			
(プログラムコーディネーター)		55			/
		58	/	Ph. D (Computer Science)	/
		56	/		
		62		Ph. D (Operations Research)	
		55		()	
		50		()	
		42			
		63			
		34			
		63			
		49			
		61		MA (Civil Engineering)	
		57			/
		49			
		50		Dr. -Ing.	
		40		TeknD	
		43			
Darko Radovic		55		Architectural Engineering, Urban Design, PhD	
		50			
		47			
		57			
		57			
Epaniondas Mistorakos		45	Department of Engineering, Professor of Energy Technologies	Combustion Science, Ph. D.	
Chung K. Law		63	Professor of Mechanical and Aerospace engineering	Combustion Dynamics, Ph. D.	
Hannu Jaakkola		60	Professor of Software Engineering	Social Computing, Ph. D.	
		66	United Nations Environment Programme, Asia- Pacific Adaptation Network, Chair	Ph. D.	

(機関名:慶應義塾大学 申請類型:複合領域型(環境) プログラム名称:グローバル環境システムリーダープログラム)

ICT

2030 7

” / “ ” “

ICT

2 3 5

NPO

NPO

3 6

2010 6

<http://ei.sfc.keio.ac.jp/>,

“ ”

NPO

NPO

NPO

2

UNEP Asia Pacific Adaptation Network (APAN)

PDCA

PDCA

Black Wednesday

2 PDCA

グローバル環境システムリーダープログラム

国際トレーニング制度

- 海外フィールドワーク・インターン
(修士3ヶ月, 博士6ヶ月(3ヶ月×2回))
- 海外大学院とのダブルディグリー
- 実践的インターンシップ
- 問題発見解決型フィールドワーク
- 海外実証実験プロジェクト

国際連携研究

- 海外大学院とのダブルディグリー
- 来訪型・交流型・海外滞在型RA
- 国際シンポジウム・ワークショップ参加
- 国際連携研究プロジェクト

連携先機関

プリンストン大学 ケンブリッジ大学
 タンペレ工科大学 国連環境計画APAN

提携機関

復旦大学 延世大学 ハレ大学
 ルンド大学 エコールセントラル カーネギーメロン大学
 スラバヤ工科大学 ハノイ工科大学 タイNECTEC
 UCSD マックスプランク研究所 IBM(提携企業)

Mozilla Japan (提携NPO) 藤沢市(提携自治体)

- メジャー/マイナーを選択
- アドバイザリー制度(研究指導グループに理工学部・SFC双方の教員、および、海外メンターが参加)

メジャー分野基礎

マイナー分野基礎

修士・博士の5年一貫コース

国際産学NPO連携研究指導体制

分野横断的に指導体制を構築

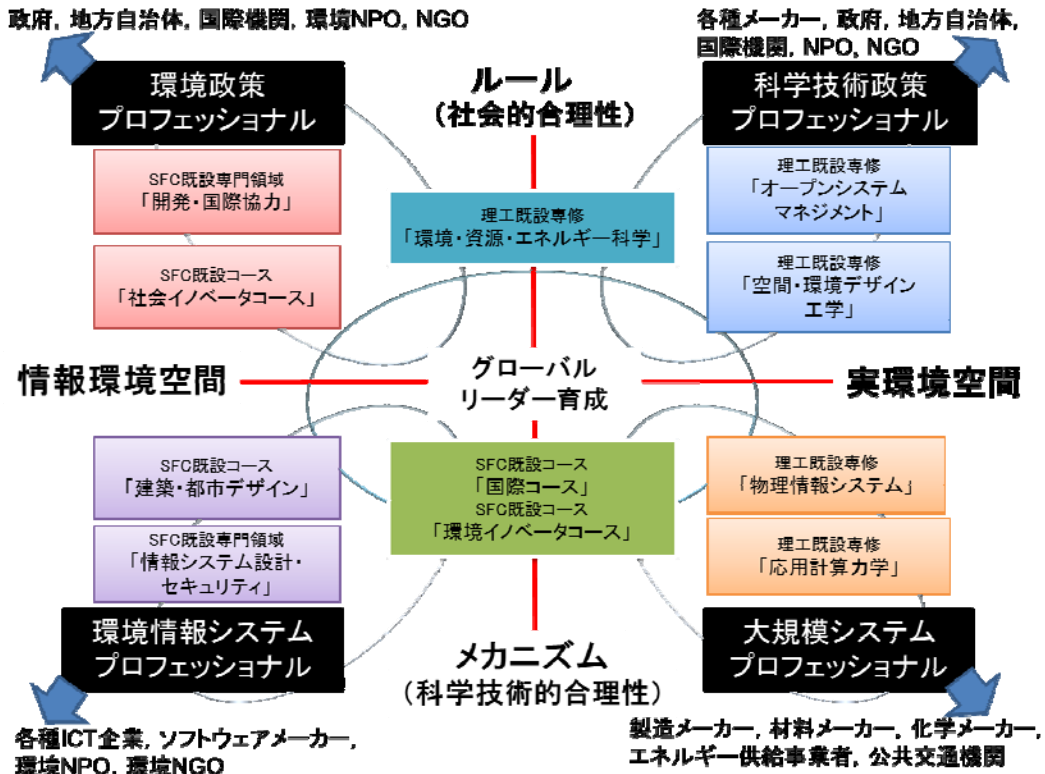
SFC
政策・メディア

理工

- 地球環境政策
- エネルギー環境論
- 環境ビジネスデザイン
- 情報通信とセキュリティ
- マルチメディア知識ベース論
- 自律分散協調システム
- 環境測定演習
- ランドスケープデザイン
- グローバルガバナンス

- 化学エネルギー変換
- 量子エネルギー利用技術
- 航空・宇宙推進技術
- 地球環境学
- 環境化学
- ファジシステム
- 計算機ハードウェア
- 空間・環境デザイン
- 省資源化技術

1



2
